

## ① 職場の概要（仕事の内容）

- 税務大学校は、国家公務員として採用された税務職員に対して必要な研修を行う機関で、熊本研修所は、全国12か所に置かれている地方研修所の一つである。
- 税務職員採用試験等による新規採用者に対して、社会人としての良識及び公務員としての自覚を身に付けさせるとともに、税務職員として必要な知識、技能等の基礎的事項を習得させている。
- 現に税務の第一線で働いている職員に対しては、社会の変化に即応し得るよう、必要な研修を実施しているところ、職務の遂行に必要な会計学や国際課税分野、審理分野の知識の習得や、語学に関する能力の養成を目的として通信制で実施する通信研修では、課題の添削指導のほか、必要に応じて数日間のスクーリング（面接授業）を実施している。

## ② 倫理保持に関連する取組の概要

- 国家公務員倫理月間にあわせて、例会等を通じて職員全員へ倫理保持に関する周知を実施
- 研修生に対しては、年末年始の長期休暇前に倫理保持に関する周知を実施

### ③ ②に記載した倫理保持に関連する取組の目的及び効果

- 国税職員としての立場と責任を改めて自覚してもらうことを目的とし、職場のコンプライアンスを維持することで、公務に対する信頼を得る、より良い職場環境を作る効果が期待される。

### ④ 職場のPR内容

- 風通しのよい職場環境の下、新規採用者を国民から信頼される税務職員に育てあげるため、また、現に税務の第一線で働いている職員を社会の変化に即応しうよう必要な研修を行うため、職員間で協力しながら日々業務に取り組んでいる。